



《兄妹》1964年

滋賀県立近代美術館所蔵

小倉遊亀 絵筆にこめた愛

2018年

4月14日(土)～6月10日(日) 午前9時30分～午後6時 観覧券の販売は午後5時30分まで
月曜休館 (ただし4月30日は開館) **ゴールデンウィークは無休です**

観覧料 一般1,000円(800円)、一般前売800円、大学生・高校生800円(600円)、中学生以下無料

* () 内は団体(20名以上)・リピーター割引料金 * 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料(受付でご提示ください)

* 前売期間: 3月10日(土)～4月13日(金)

販売場所 新潟市美術館、新潟市新津美術館、新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館、hickory03travelers、シネ・ウインド、DeKKY401、新潟伊勢丹、セブン-イレブン(セブンチケット)、インフォメーションセンターえん

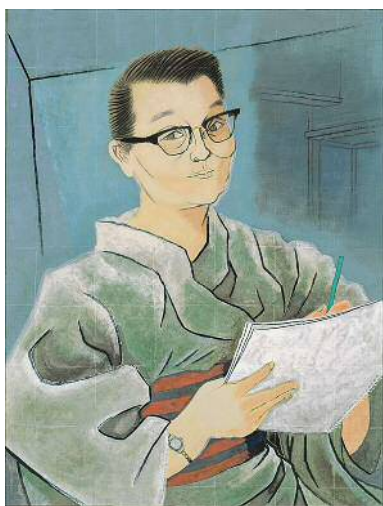
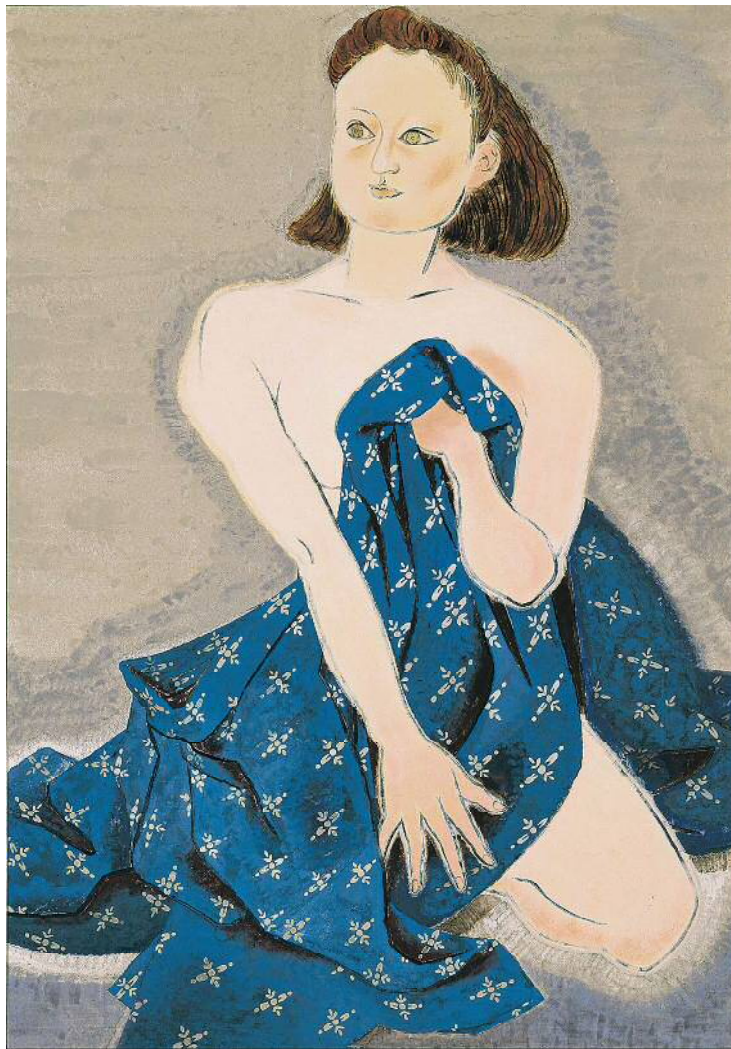
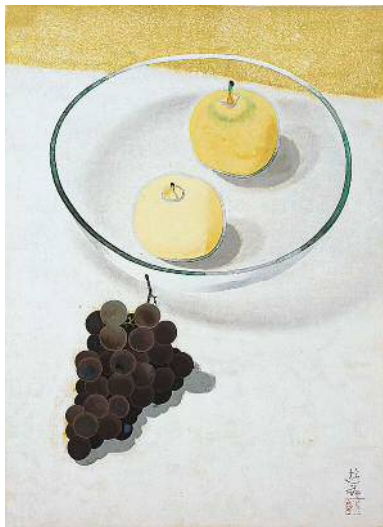


主催 小倉遊亀展実行委員会(新潟市美術館、BSn新潟放送)
特別協力 滋賀県立近代美術館



新潟市美術館
Niigata City Art Museum

951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9 TEL: 025-223-1622



1	3	4
2		

- 1 《葡萄》 1959年
- 2 《画人像》1962年
- 3 《少女》1963年
- 4 《青巒》1976年

すべて滋賀県立近代美術館蔵

1895年（明治28年）滋賀県大津市に生まれた小倉遊亀（おぐら ゆき）は、奈良女子高等師範学校（現在の奈良女子大学）に学び、教職に就きますが、絵に対する情熱絶ちがなく、25歳にして安田靉彦に師事、日本画家としての道を歩み始めます。31歳で院展に初入選し、以後毎年入選を重ね、画家として揺るぎない地歩を固めていきます。日本の伝統を重んじつつも、小倉遊亀は常に時代の清新な感覚を取り入れ、明るく生命感あふれる独自の世界を築き上げました。やさしいまなざしで捉えた静物や人物、とりわけ家族の姿は、慈愛に満ち、多くのひとの心をひきつけてやみません。

1980年には文化勲章を受章、2000年に105歳で没しますが、女性画家のパイオニアの一人として、その存在は近代日本画の歴史に燦然と輝いています。画家の故郷にある滋賀県立近代美術館は国内最大規模の小倉遊亀コレクションを所蔵しています。本展は同館の全面的な協力のもとに、その珠玉の名品約50点を、画家の抱いた三つの愛—日本画への憧れ、身近なものに向けた眼差し、愛する家族の姿—を切り口に、初期から晩年にいたる画業の全貌を紹介するものです。
*会期中一部作品の展示替えを行います

◆ 記念講演「小倉遊亀の生涯と画業」

講師：國賀由美子氏
（大谷大学 文学部歴史学科教授〔日本絵画史〕、元滋賀県立近代美術館専門学芸員）

5月13日（日）午後2時～3時30分
会場：当館2階講堂

聴講無料（事前申込不要・先着100名）

◆ ギャラリートーク

（当館学芸員による解説）

4月22日（日）、5月20日（日）、
6月3日（日）

各日午後2時から（30分程度）

*直接企画展示室にお越し下さい。

*当日の観覧券が必要となります。

◆ Lounge N きままプログラム

いつでもだれでも無料でご参加いただける
気軽な造形プログラムを提供しています

【同時開催の展覧会】

コレクション展Ⅰ「まる、はじまりのかたち」

4月20日（金）～7月29日（日）

◆ コレクション展ギャラリートーク

4月28日（土）、5月26日（土）、
6月23日（土）、7月28日（土）

各日午後2時から（30分程度）

*直接常設展示室にお越し下さい。

*当日の観覧券が必要となります。

◆ ふれあい美術館ガイド

美術館協力会ボランティアによるご案内と解説

5月27日（日）

午前11時から（30分程度）

*エントランスホールにお越し下さい。

*当日の観覧券が必要となります。

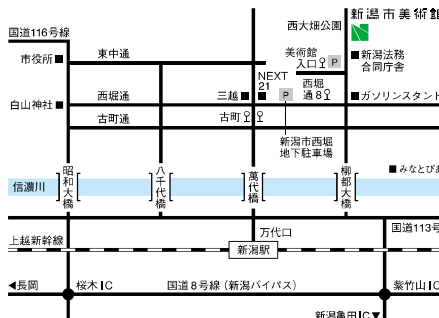
【新潟市新津美術館の展覧会】

TEL：0250-25-1300

足立美術館所蔵

横山大観と近代日本画名品展

4月7日（土）～5月20日（日）



交通のご案内

- バスで（新潟駅万代口バスターミナルから）
 - A：〔観光循環バス・朱鷺メッセ先回りまたは白山公園先回り〕乗車約30分→バス停「新潟市美術館入口」下車→徒歩約3分
 - *1日14便運行
 - B：〔C6八千代橋線〕乗車約16分→バス停「西堀通八番町」下車→徒歩約5分
 - C：〔B1萬代橋ライン（BRT）など〕乗車約10分→バス停「古町」下車→徒歩約12分（約850m）
 - *最も便数が多いです
 - *「古町」から〔C6八千代橋線〕または〔C5西堀通線〕入舟営業所行きに乗り継ぎもできます
 - タクシーで：新潟駅万代口から約10分
 - 自動車で（無料駐車場46台）
 - A：〔高速道路〕日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分
 - B：〔国道8号線（新潟バイパス）〕紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分
- *お車で越越しの場合「新潟市西堀地下駐車場」をご利用の方には、60分無料券をお渡ししています。